北淡活断層シンポジウム 2008

近畿地方を襲う
近未来の大地震と防災

2008年1月12日（土）午後1時～1月13日（日）午後1時
北淡震災記念公園セミナーハウスにて、開催！

2008年1月12日（土）午後1時～5時

普及講演会 「近畿地方を襲う近未来の大地震と防災」

近未来の南海地震像についての最新の予測と、近畿地方を襲う内陸大地震の長期予測や強震動予測、それらに基づく被害想定などを紹介し、今後の地震・津波防災を考えます。

司 会　岡田篤正（実行委員長／立命館大学 歴史都市防災研究センター）
挨 拶　門　康彦（淡路市長）
講 演　① 近畿地方の活断層と大地震の長期予測
杉山雄一（産業技術総合研究所 活断層研究センター）
② 活断層と文化財防災
土岐憲三（立命館大学 歴史都市防災研究センター）
③ 次の南海地震は宝永巨大地震か？
島崎邦彦（東京大学地震研究所）
④ 想定南海地震による津波予測と防災
河田惠昭（京都大学防災研究所 巨大災害研究センター）
⑤ 想定南海地震による強震動予測と大規模構造物の被害想定
入倉孝次郎（愛知工業大学）

（講演題名は、当日に変更になる場合もあります）

錦絵 伏見大地震の図（淡路市教育委員会所蔵）1596年伏見地震により天守閣が倒壊した伏見城で、豊臣秀吉に謁見する加藤清正

主催：北淡活断層シンポジウム実行委員会　[委員長：岡田篤正（立命館大学 歴史都市防災研究センター）]
共催：淡路市・淡路市教育委員会　日本活断層学会　活断層研究会　産業技術総合研究所　兵庫県立人と自然の博物館　（予定）
後援：兵庫県・兵庫県教育委員会　東京大学地震研究所　日本第四紀学会　株式会社 ほくだん　（予定）

北淡活断層シンポジウム2008

◆第2日目◆

2008年1月13日（日）午前9時30分～午後12時30分頃

学術シンポジウム

「2007年の能登半島地震・中越沖地震を考える」

2007年に発生した能登半島地震と中越沖地震を対象に、震源断層やそれと活断層との関係、地震に伴う地殻変動、強震動による構造物被害、地震時の住民行動や津波防災などについて講演いただき，活断層と地震の総合的研究を、さまざまな分野と視点から考えていきます。

講　演

① 地震観測からみた2007年能登半島地震・中越沖地震の震源断層　　酒井慎一（東京大学地震研究所）

② 地殻変動からみた能登半島地震と中越沖地震　宇根　寛（国土地理院 地理地殻活動研究センター）

③ 能登半島地震および中越沖地震における沿岸地形調査　越後智雄（財団法人 地域地盤環境研究所）

④ 中越沖地震の震源域の活断層とその問題　鈴木康弘（名古屋大学 地震火山・防災研究センター）

⑤ 中越沖地震による構造物被害の概要　家村浩和（京都大学工学研究科）

⑥ 能登半島地震による構造物被害　宮島昌克（金沢大学）

⑦ 能登半島地震発生時の住民行動と今後の津波防災への展望　青木賢人（金沢大学）

（講演題名は、当日に変更になる場合もあります）

一八五四（嘉永七・安政元）年の安政南海地震と津波による尼崎、京都丹波、大阪、奈良など、近畿地方主部の被害のようすを伝える地震かわら版

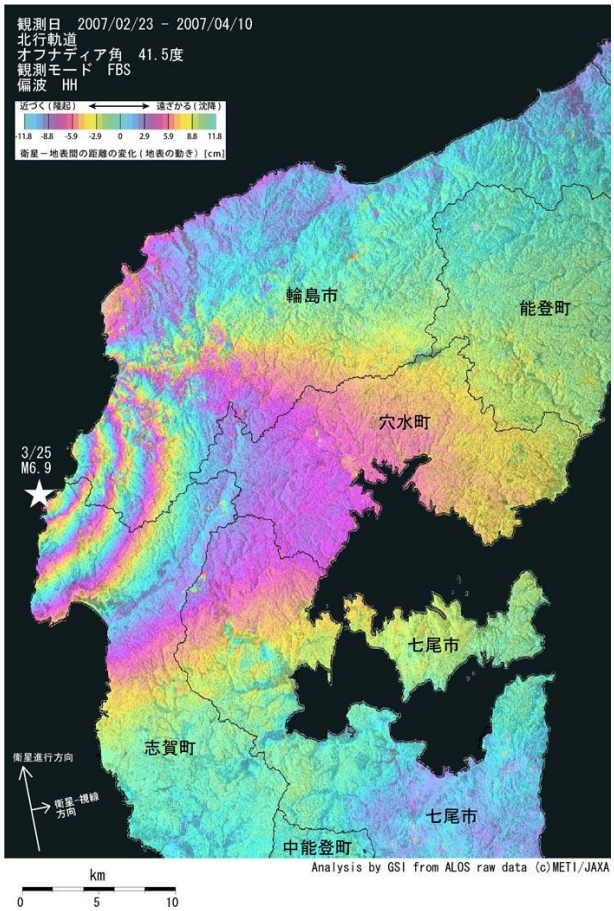
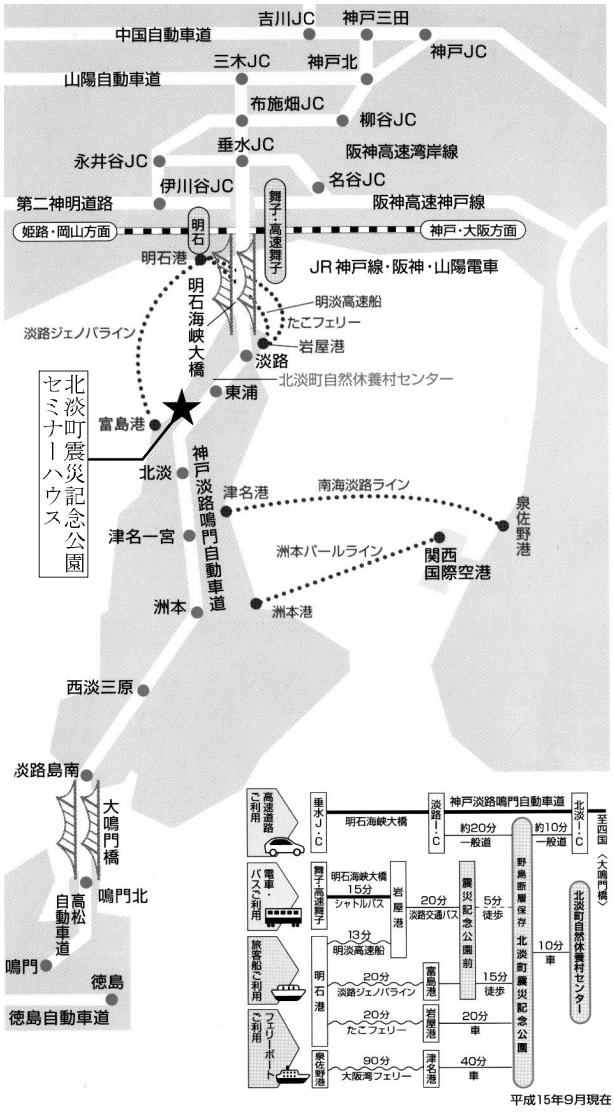
◆ 参加の申込方法など ◆

- 普及講演会、学術シンポジウムとも参加無料です。
- 参加希望者は下記まで電話か電子メールで申込ください．
- 各日毎の参加も可能です．申込時に参加を希望する月日をお伝えください．
- 各日とも先着200名にて締め切ります．

参加申込先：北淡震災記念公園セミナーハウス
電話：0799-82-3400
E-mail：danso1995@yahoo.co.jp

- 会場受付は、1月12日（土）は午前11時より、1月13日（日）は午前9時より行ないます。
- 会場受付にて講演資料などを受け取りください。

淡路ジェノバラインは、冬季（12月～2月）期間中、強風により欠航することがあります。荒天時には、淡路ジェノバラインの運行状況について上記セミナーハウスまでお尋ねください。



2007年能登半島地震による地殻変動（国土地理院）